

平成 31 年度栃木県立馬頭高等学校シラバス

教科名	科目名	単位数	学年・学科・授業クラス
芸術Ⅱ	美術Ⅱ	2	2 年生 普通科 美術選択

科目概要と目標	美術の創造活動を通して、美的感覚を洗練し、表現と鑑賞の能力を高めるとともに、美術についての理解を深め、美術を愛好する感情を高める。		
	教科書・副教材	高校生の美術 2	
評価の観点	関心・意欲・態度	自己の表現したい世界を自ら生み出す意欲や主題生成の能力を高めていく事ができる。	
	思考・判断・表現	生徒が自ら学習課題を設定して幅広く多様な学習を展開していくことができる。	
	技能	表現の楽しさや完成の喜びを味わい、自己表現を果たしていく態度を養うことができる。	
	知識・理解	多様な表現様式の特質についての理解を深め、知識を身につけることができる。	
評価の方法	各学期 授業中に制作した作品、提出物・・・80 点 出席・態度・・・20 点 （授業に遅刻欠席した場合、授業態度が好ましくない場合、減点となる。） 学期末 各学期の評点の平均		

学習計画

月	学習内容	学習のねらい・活動
4	ガイダンス	年間計画の説明と授業の取り組み方について知る。
5	文字とデザイン	教科書、雑誌、パンフレットなどから様々な文字を収集し、書体の特徴を分類し、デザインとしての文字を学ぶ。
6	ポスター制作	校内や校外行事の案内のポスターデザインを制作し、実際に掲示を行う。アクリル絵具の特徴を理解し、使い方を学ぶ。
7		
8		
9		
10		

11	日本画の模写	日本画と洋画の違いを鑑賞する。墨と筆による表現を理解し、日本画がどのように描かれているかを理解する。
12		
1	印鑑ケース	道具の使い方や特徴を理解し、材料の特徴を活かして表現する。仕上げまでを視野に入れ、見通しを持って制作する。
2		
3		

平成 31 年度栃木県立馬頭高等学校シラバス

教科名	科目名	単位数	学年・学科・授業クラス
選択 A	クラフトデザイン	3	3 年生 普通科

科目概要と目標	クラフトデザインの基礎となる学習を通して、発想や構想に関する資質・能力を 培い、イメージやアイデアを広げ、創造的に表現できる資質・能力を身に付ける。 また、使う人の心情とデザインや工芸との関係や、形や色彩、素材などの造形の 要素の働きと構造の原理を理解するとともに、自然物や人工物の観察を通して、構 成や構造のよさや美しさを発見し、それらをクラフトデザインに生かせるようにす る。		
	教科書・副教材	工芸 I	
評価の観点	a)関心・意欲・態度	題材や活動に対して関心が高まり、意欲を持って取り組めたか。	
	b)思考・判断 ・表現	感性や想像力を働かせて、自然や身の回りの道具、工芸作品の美しさや機能性を感じ取る事ができたか。	
	c)技能	集中力を持続させ、使う人を意識し制作方法や道具を工夫することができたか。	
	d)知識・理解	材料や技法を理解し、工芸作品や道具の良さや美しさを味わう事ができ自分の考えを述べられるか。	
評価の方法	各学期 授業中に制作した作品、提出物・・・80 点 出席・態度・・・20 点 (授業に遅刻欠席した場合、授業態度が好ましくない場合、減点となる。) 学期末 各学期の評点の平均		

学習計画

月	学習内容	学習のねらい・活動	評価観点			
			a	b	c	d
4	ガイダンス	年間計画の説明と授業の取り組み方について知る。工芸についての理解を深める為、工芸作品を鑑賞する。	○			
5	粘土の模刻	身の回りにある道具を観察し、石粉粘土を用いてそっくりな形に模刻する。道具の持つ機能性と形の関係について学ぶ。	○	○	○	○
6						

7	木製スプーン	木の角材から、実際に使用することを目的としたスプーンを制作する。完成した作品は実際に使用することで、道具の持つ使う人への細やかな工夫について学ぶ。	○	○	○	○
8						
9						
10						
11	クリスマスカード	色画用紙を使って、クリスマスに関するポップアップカードを制作する。	○	○	○	○
12						
1	建造物模型	発泡スチロールを使用して、建造物を制作する。実際に建てられている建造物の構造やその美しさ、工夫を学ぶ。	○	○	○	○
2						
3						

平成 31 年度栃木県立馬頭高等学校シラバス

教科名	科目名	単位数	学年・学科・授業クラス
選択 B	ビジュアルデザイン	4	3 年生 普通科

科目概要と目標	視覚的な伝達効果について理解を深めるとともに、専門的な技能を身に付ける。表現及び鑑賞に関する創造的な思考力、判断力、表現力等を育成する。			
	教科書・副教材	美術Ⅲ		
	評価の観点	a)関心・意欲・態度	題材や活動に対して関心が高まり、意欲を持って取り組めたか。	
		b)思考・判断・表現	専門的な知識や技能などを活用し、創造的に発想し構想を練ったり、作品などに対する見方や感じ方を深めたりすることができたか。	
		c)技能	視覚的効果や伝達機能について理解を深めるとともに、発想や構想をしたことなどを基に、独創的・創造的に表す専門的な技能が身に付いたか。	
d)知識・理解		主体的に表現したり鑑賞したりし、色や配置の違いによる効果や視覚伝達物の役割について理解することができたか。		
評価の方法	各学期 授業中に制作した作品、提出物・・・80 点 出席・態度・・・20 点 (授業に遅刻欠席した場合、授業態度が好ましくない場合、減点となる。) 学期末 各学期の評点の平均			

学習計画

月	学習内容	学習のねらい・活動	評価観点			
			a	b	c	d
4	ガイダンス	年間計画の説明と授業の取り組み方について知る。工芸についての理解を深める為、工芸作品を鑑賞する。	○			
5	色彩の基礎知識	色彩についての基礎知識、絵具の使い方を学習する。	○	○	○	○

6	パッケージデザイン 「缶詰のデザイン」	パッケージデザインに必要な知識や色による印象の違いを学習する。商品のイメージに対する、適切な表現を考える。	○	○	○	○
7						
8	キャラクターデザイン 「商品イメージキャラクター」	イメージキャラクターの役割について学ぶ。商品のイメージを抽出し、その情報を基にキャラクターをデザインする。	○	○	○	○
9						
10	インダストリアルデザイン「うちわ」	使用者を設定し、それに合ったテーマについてデザインする。	○	○	○	○
11						
12	空間デザイン① 「文化祭」	文化祭という場を盛り上げるために、どのような看板や飾りが必要かを考え話し合い、全員で一つの空間を提案する。	○	○	○	○
1	空間デザイン②		○	○	○	○
2	「校舎内の空間デザイン」	これまで学んだ事を活かして表現する。見慣れた風景の中から、空間の良さを再発見し、空間の良さを増幅させるような作品の制作、設置を行う。				
3						

平成 31 年度栃木県立馬頭高等学校シラバス

教科名	科目名	単位数	学年・学科・授業クラス
芸術 I	美術 I	2	1 年生 普通科・水産科 美術選択

科目概要と目標	<p>1. 表現の意図に応じて材料や用具の特性を生かしたり、表現方法を工夫したりするなどして創造的に表す技能を身につける。</p> <p>2. 特徴を理解し、その良さや美しさを味わい、自分の考えを述べることができる。</p> <p>3. 学習に主体的に取り組む態度や、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てる。</p>		
教科書・副教材	高校生の美術 1		
評価の観点	a)関心・意欲・態度	題材や活動に対して関心が高まり、よりよい作品をつくろうと自分から進んで取り組むことができたか。	
	b)思考・表現	自然や身の回りのもの、美術作品などから想像力を働かせて、自分なりに美しさを見つけ感じ取ることができたか。 自分の表現意図を持ち、表現を工夫して見通しを持って活動できたか。	
	c)技能	創造的な表現をするために、材料や表現方法を選択し効果的に活かせるよう、技術を身につけられたか。	
	d)鑑賞	特徴を理解し、それらの良さや美しさを味わうことができるか。感じたことや自分の考えを述べることができるか。	
評価の方法	<p>各学期 授業中に制作した作品、提出物・・・80 点 出席・態度・・・20 点 (授業に遅刻欠席した場合、授業態度が好ましくない場合、減点となる。)</p> <p>学期末 各学期の評点の平均</p>		

学習計画

月	学習内容	学習のねらい・活動	評価観点			
			a	b	c	d
4	ガイダンス	学習内容や評価方法の把握	○			
5	素描基礎 鉛筆デッサン	制作活動の基本であるデッサンを、鉛筆を使って行う。	○	○	○	○
6		デッサンを行う際の鉛筆の使い方や、鉛筆の特徴				
7		を効果的に活かせる技能を身につける。				
8		完成した作品は、クラス毎に鑑賞を行う。				

9	ゼンタングル と水彩表現	パターン(模様)を並べる事で、画面を美しく構成する。 白と黒のコントラストの良さを理解する。 水彩絵の具の特性を理解し、自身の表現として身につける。	○	○	○	○
10						
11						
12						
1	立体切り絵	地と図の関係から切り絵を学ぶ。 刃物の使い方を身につける。 切り絵を立体的に展開する技法を学ぶ。				
2						
3						